

# 令和8年度 学力向上のための重点プラン【小学校】新宿区立津久戸小学校

## ■ 学校の共通目標

【令和8年6月15日】

授業作り	重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、各教科において ICT 機器も活用しながら、双方向のコミュニケーションのある授業を目指す。</li> <li>・授業を通して、児童が夢中になって学びの対象に関わり、「聴く」こと、「考える」こと、「表現する」ことの三つに重点をおきながら、自分の考えをもつことができる授業づくりを行う。</li> </ul>
環境作り		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの中で、一人ひとりの児童が安心感と他者への信頼を実感できる学級経営を目指す。</li> <li>・児童にとって見通しのもてる授業設計と、それを可能にする教室環境（ユニバーサルデザインの視点）を整備する。</li> </ul>

## ■ 学年の取組について

学年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の意味、様子や気持ちを考えて正しく読めるように指導する。</li> <li>・平仮名、片仮名を文字の形に気を付けて書き、長音、拗音、促音、撥音、助詞を正しく使えるように指導する。</li> <li>・相手を意識して話を聞き、自分の考えを文で話せるようにする。</li> <li>・具体物を用いた活動を通して数についての感覚を身に付けるとともに、基本的な学習内容の定着を図る。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 音読、日記の習慣化</li> <li>② 話し方、聞き方を例示、対話、話し合い活動(少人数)の設定</li> <li>③ 具体物の操作と紙教材、デジタル教材を活用した学習単位時間ごとのまとめや振り返り</li> </ol>
2 学 年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の書きができるようにするために、正しい字形を捉えて書くことや正しい筆順で書く意識を形成する。</li> <li>・補充問題に取り組むことで、加法、減法、乗法の定着を図る。</li> <li>・数学的な表現を確実にするために、加法、減法、乗法が用いられる場面を式に表したり、場面を絵や図で表したりする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 紙ドリルとデジタルドリルを併用した文字の学習</li> <li>② デジタルドリルを使用した基礎的な計算練習の日々の取組</li> <li>③ 半具体物の操作や絵や図を意識的に描く授業の展開</li> </ol>
3 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新宿区学力定着度調査の結果、基礎学力は全体的に区平均を上回っている。</li> <li>・国語では、書く領域の正答率がやや低いので、書く力をさらに向上させる必要がある。</li> <li>・算数では、計算の正確性を高め、図形について理解を深める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作文等の文章を書く機会を増やし、考えたり、書いたりすることに慣れるようにする。</li> <li>・加法、減法、乗法の正確性を高めるために、補充問題へ取り組み、見直しの習慣の定着を図る。</li> <li>・図形の特徴について具体物の操作を行いながら理解を深めるようにする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 授業での作文を書く活動の設定</li> <li>② 紙のドリルとデジタルドリルを使用した学習への取組</li> <li>③ 具体物の操作を取り入れた授業の展開</li> </ol>

<p>4 学 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新宿区学力定着度調査の結果、基礎学力は全体的に区平均を上回っている。</li> <li>・国語では、「書くこと」の力をさらに向上させる必要がある。</li> <li>・算数では、「図形」や「測定」において、理解を深める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作文等の文章を書く機会を増やし、考えたり、書いたりすることに慣れるようにする。</li> <li>・図形の特徴について具体物の操作を行いながら理解を深めるようにする。</li> <li>・測定の領域において、量の意味を実感的に理解し、日常生活と関連付けることで、理解を深めるようにする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 授業での作文を書く活動の設定</li> <li>② 紙のドリルとデジタルドリルを使用した学習への取組</li> <li>③ 日常生活との関連付け、具体物の操作を取り入れた授業の展開</li> </ol>
<p>5 学 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新宿区学力定着度調査の結果、全体的に全国平均を上回っている。</li> <li>・国語では、「書くこと」や「読むこと」の力をさらに向上させる必要がある。</li> <li>・算数では、「図形」や「測定」において、理解を深める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書く機会を増やし、考えたり、書いたりすることに慣れさせる。</li> <li>・図形の特徴について作図の機会を増やすことで理解を深めるようにする。</li> <li>・測定の領域において、日常に関連付けたり、実際に様々なものを測定する機会を増やしたりすることで理解を深めるようにする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 授業で書く活動の多く設ける</li> <li>② 紙のドリルとデジタルドリルを使用した学習への取組</li> <li>③ 日常生活との関連付け、具体的な操作活動を取り入れた授業の展開</li> </ol>
<p>6 学 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新宿区学力定着度調査の結果、全体的に全国平均を上回っている。</li> <li>・国語では、読んだ内容を基に、言葉の意味や筆者の意図を考え、自分の考えとして整理・表現する力に課題が見られる。</li> <li>・算数では、表や式、グラフを基に数量の関係を考察する場面で、対応の仕方や増減の意味を正しく捉えきれない傾向が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語・算数ともに、文章や資料から必要な情報を読み取り、根拠を基に自分の考えを言葉で説明する活動を授業で取り組むことで、整理・表現する力を高める。</li> <li>・算数では、表や図を用いて数量の変化や関係を整理してから立式し、言葉で意味を確認する活動に取り組むことで、理解を深める。</li> <li>・授業の最後に「分かったこと・使った言葉や考え方」を短く振り返り、学習内容の定着と活用につなげる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①字数を指定して書く学習や、文中の言葉に着目して読む学習の設定</li> <li>②紙のドリルとデジタルドリルを活用した反復学習</li> <li>③児童一人ひとりに即した課題の設定、放課後補習での対応</li> </ol>
<p>特 別 支 援</p>			